危い!! 子供の線路遊び
勝立線で敏博ちゃん轢かる

去る一日午後一時二十分ごろ勝立線の電車が宮浦停留所にむけて進行中、線路内に子供が遊んでいるのをみつけ急停車したが間に合わず轢いた。

子供は宮前社宅高島敏雄さん（宮浦坑）の長男敏博ちゃん（二）で左足親指ほか三本を切断したほか頭などに重傷を負い、勝立分院で手当を加えたが同日午後六時二十五分ついに死亡した。

同地点はカーブの多いところでおまけに勾配もついているという悪い条件がこの惨事を起させたのに一因があると思われるが、敏博ちゃんが線路内で遊んでいたということは、今後この種の惨事が発生しないためにも父兄の注意が要請されている。

なお詳細な点は支部で調査中であり、その対策も行われるものと思われる。

こんどの事件によつて、とくに通勤路線周辺の地域には子供を絶対線路附近に遊ばせないことがつよく要望されているが、全く一歩誤ればとり返しのつかないことになる。通勤路線でのこの種の災厄はほとんどまれだが、例えば国鉄で例を見ると、門鉄運輸部保安課の調査によると大人を含めて三十年度中に線路上の事故で死んだもの百二十七人、ケガをしたものは六十四人。六才以下の子供で線路上で遊んでいたためケガをしたり、列車をとめたものが二十一件あるという。このため近く「鉄道子供会」をつくつて、子供たちに線路立入りをやめるよう働きかける動きさえ示している現状である。

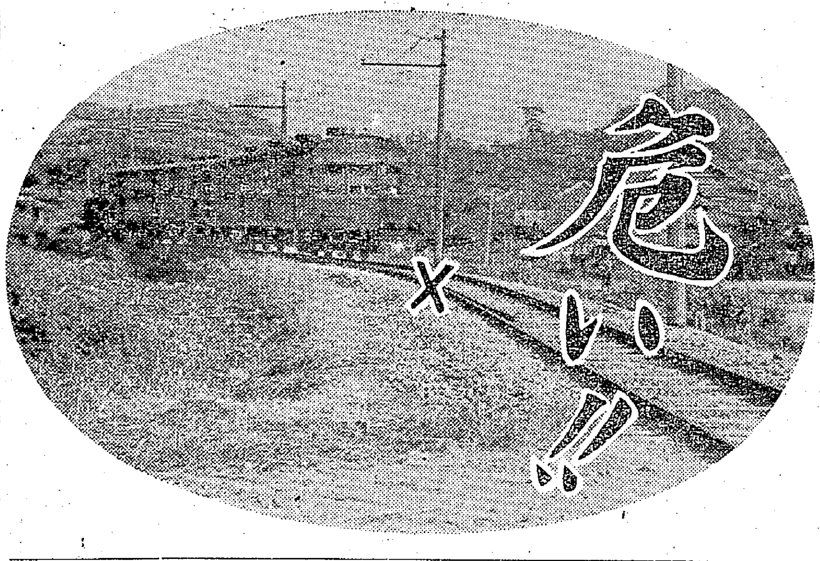
通勤路線でも今後の事故はないとはだれが云えよう。子供の一人遊びや子供たちが一緒になつて線路附近で遊んでいるときには、例えどこの子供であつても強く注意して去らせるようにしなければならない。

敏博ちゃんの場合は母親と売店へ買物にきて、母親から離れて線路上で遊んでいたといわれている。

子供へは線路附近で遊んではならぬとよく云い聞かすのも大切だがまだ小さい子供なら必ず一緒につれて放さないようにしよう。

勝立附近はとくに人通りの多いところを電車が走つているので、よくよく気をつけるとともに、厳重な監視の目を光らせなければならない。

それとともに子供に遊び場をあたえることが、もつと大事なことであると思われる。先日の大鉄傘を湧かせた若の花も可愛いい息子をチヤンコなべで火傷させ死亡させている。よくよく監視の目を光らせていないと、不幸は思わぬところで発生するものだ。（写真・×印が遭難現場）



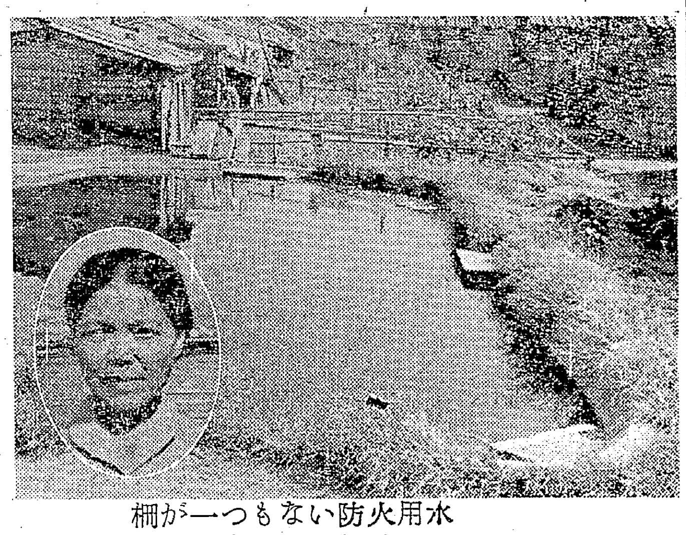
"池に外柵を
救助八回目の川口さん

去る九月二十二日午後五時ごろ新港社宅（港務）の一区十五棟の裏にある防火用水附近で遊んでいた港務支部根本茂三郎さん（機電）の三男ふとしちやん（二才）が誤つて池に転落、手足だけ水面にみせてバタバタ苦しんでいるところを川口富蔵（貯炭）さんの母親ハナさん（五九）がみつけ出し、無事に救助したので一命をとりとめた話がある。

この池はいままでにも子供の転落があいついでおり、柵もほどこしてないために非常に危ぶまれていた。ふとしちやんを助けたハナさんはこれまでにも七回も子供を救助したという記録をもつていて、こんどで八回目だという。これをみてもいかにこの池が危いかがうかがわれる。

川口さんの話によると、池の東側に豚小屋があり、翌日消毒があるというので、豚小屋の裏手で草取りをしていたところ表の方で子供が騒ぐ声がした。急いで表へ廻つてみたときはもう池の上に出ているのは手と足の先、着物のスソが浮かんでいるだけだつたのであわてて引上げた。ということだつたこの池はあまり掃除もしていないので底はドブで一杯、体はこのドブがついて泥だらけで息もとまつていたので口や鼻からドブを吸いだしてやつと息を吹返したものである。

附近の人たちは以前から何とかして柵を作つてもらいたいと要求していたが、柵をつくると火事のとき困るからという理由でそのままになつている。いままでの例もあることだし、こん後もこういう例は出てくると思われているのでなんとかならんものかと地域の人たちは非常に心配している。



柵が一つもない防火用水
円内は殊勲の川口さん

"世界に恥ず悪法"
延長反対で総決起大会

「スト規制法」延長反対総決起大会は、秋晴れの九月三十日大牟田荒尾の両地区でそれぞれ盛大に行われ、延長反対への闘志を盛上げて闘う決意を新たにした。

大牟田地区では笹林公園を会場に参加人員約八千名、荒尾地区では原万田グラウンドの会場に約二千名が結集した。

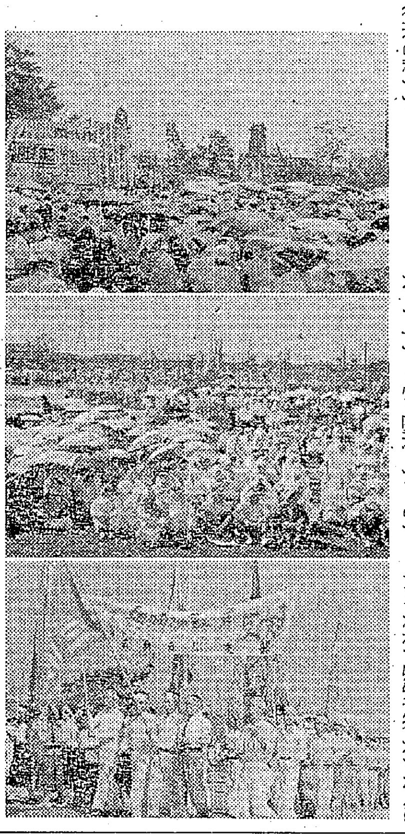
▲スト規制法延長絶対反対
▲職場闘争で敵の捲返し攻勢粉砕
▲みんなの眼で経営の動向を監視しよう

のスローガンの下に大会を開催、議長団を合成、教組、電労連、主婦会から選出小宮実行委員長の挨拶につづき三鉱労組河野書記長から経過報告があり「いままでわれわれの力の前にこの悪法は足ぶみする状態だつた。しかし鳩山内閣はさらにこの悪法を延長しようとしており、あまつさえ公共の事業－ガス、私鉄などに拡大しようとしている」と報告、ここで阻止せぬかぎり労働者の弾圧に恰好の武器をあたえると延長反対に対する全労働者の結集を呼びかけた。

つづいて前記スローガンを満場一致で採択、祝電披露ののち三鉱、電産の職場代表による延長反対への意見発表、大会決議文、要請文を満場一致で採択した。

〃炭労、電産の良識ある労働者は法制定後三年、法の発動を見ることなく塵をかぶせた無用の法たる事実を指摘したい。政府資本家の権利を尊い資本家のみを擁護する世界に恥ずべきこの悪法の延長阻止に貴職の御賢了を要請する〃と大要以上のような要請文は直ちに実行委員会の手で、衆参両院議長、倉石労働大臣むけに発送されることとなつた。

大会終了後は整然と隊を組んでデモ行進に移つた。



右上から大牟田会場・中荒尾会場・下三川支部の入場
左上宮浦支部の入場・中主婦も元気に・下大会万才

相つぐ外来分会の結成

外来分会の強化が叫ばれているとき、四山支部ではこの秋に入り相ついで結成が行われている。

熊本外来一中校区では九月十七日校区内の往宗寺で分会結成式をあげた、分会員八十名。

有明校区第三分会でも二十一日向一部集会所で結成を終了した。分会員四十名。

両分会とも盛大に結成式を行つて外来分会としての新しい第一歩を踏みだしたが、分会結成後はニュースカーによる映画を鑑賞した。

酒・パチンコやめて参加
地域で楽しい旅行

四山支部では、いよいよ本格的な秋に入りいま地域ではレクレーションをかねて慰安旅行がさかんに行われている。

十一日には熊外来二中校区が高瀬保養所、十四日に福三分会、福一分会の熊本行き、福五主婦分会の二日市温泉、二十一日には宮内主婦会の熊本などといろいろ計画がたてられている。

地域では生活を切りつめて、家族一緒に楽しむためにも喜んで参加しており、愉快な慰安旅行となつている。

とくにうれしい傾向として、これの参加のためパチンコや酒をやめてまで節約する人も出ているありさまで、家庭や地域がいままでにない明るさをとりもどしたと非常に喜ばれている。

外來分会ソフトボール
宮浦・三池校區

スポーツの秋！運動会、バレー、ソフトボールといま各支部の職場分会や地域分会では分会あげてスポーツに楽しんで体育の秋を謳歌しているが、外来分会でも負けじと盛んにスケジュールがくまれている。

宮浦支部三池校区でもソフトボール大会を計画。七日、歴木中学校で今年はじめての対抗試合を行うことになつており、盛況が予想される。

八代労災病院に主婦会見舞
慰問映画も上映

熊本の八代労災病院にはいま三鉱労組の組合員は十数名入院していて、このうちけい肺患者は十二名となつている。

三鉱主婦会では大牟田、荒尾の入院患者見舞はよく行われているが八代病院となると、距離も遠く多勢の人が見舞に行くというような機会は少いところから、めつたに行われていなかつたが、十月五日板井、東口、野田、五島さんらが見舞に行つた。

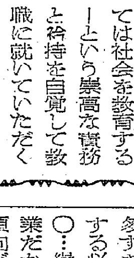
ニユースカーによる慰問映画が行われるので一緒に同乗して行つた雑誌、果物、洋かん類などを持参して患者さんたちから喜ばれている。

長溝で敬老会

宮浦支部長溝分会では九月二十三日、主婦会で午前十時から七夕保育園で敬老会を行つた。

老人二十数名を招待して茶、菓子の接待、主婦会員の演芸などを披露、老人たちはこの日楽しい一日を過した。

私はこう思う
本所 吉冨よし子



荒尾高校事件は色々ジャーナリズムにとりあげられていますが、この事件は私達の生活に直接つながりが深い問題であり、もつとほり下げて追及すべきだと思います。新聞記事を見ますと、或る先生はバレーの試合に生徒を引率して行つて、どこに泊つたのか「朝帰り」したり、生徒はまた労働争議のように先生を敵視してかゝつたりで私達が体験してきたような、先生と生徒をつなぐ「愛情と敬慕の紐」がまるでないようです。

これは敗戦と自由思想の流入で混濁した日本の社会的傾向をその侭に反映しているもので、教育界だけがその影響から逃れることは不可能だつたでしようけれど、少くとも次代の国民を育てる教育者だけは、逸早く本然のあり方を見出して立直つて貰いたかつたと思います。先生も人間である―と云うのは逃避であつて、先生はそれを職業であると考える前に、社会の子を預つて教育する、しいては社会を教育する―という崇高な責務と衿持を自覚して教職に就いていただくべきで、その自信がない人はこの職に就くべきでないと思います。

そのしつかりした先生の愛育があれば、感じやすい生徒たちが、その先生をもつことに誇りを感じ、学業に明るい希望を持つことは疑いないと思うのです。

映画は月二回
外来一区でアンケート

三川支部外来一区分会ではこの夏アンケートで分会員の声を集録していたが、つぎにまとまつたものの中から二、三のぞいてみた。配布枚数二三〇枚、回収五三枚

一、毎月読んでいる雑誌
文芸春秋 十一名 廿一%
主婦の友 十名 十九%
中央公論 九名 十七%
婦人生活 六名 十一%
世界、婦人クラブ 四名 七、五%の順となつている。

二、映画
見ない三% 半回五% 一回一三% 二回三一% 三回二一% 四回一五% 七回三% 十回三%

三、機関紙「いつく」に望むもの
○永く育てていくために身近かな問題を中心に取り上げたい。
○校区、班の探訪をやつたら。
○心の糧となるものを。
○月刊発行を実施したい。

四、現在一番困つていること。
(イ)収入が少いこと（最も多い三六%）
(ロ)親と子の考え方が違うために教育に困る。
(ハ)地域または組合で、組合員と役員の協力を作り上げる対策、会合に一人でも多く参加するようにしたい。

などの貴重な資料が集つている。（「いつく」より）

班長さん会議
三川電氣分会で開く

三川支部電気分会ではこのほど各部内の班長さんが集つて班長会議をやつたが、以下は同会議で話された二、三点を拾つてみた。

○…担当係員が欠勤の場合にくる係員は、同じ人に来て貰いたい。毎日変つてきたのでは作業面、保安の面で支障をきたすことがある

○…現在、各部内とも追加作業が増加の傾向にあるので、係員に厳重申入れる必要がある。

○…リール電車のケーブル切継が多すぎるので、この件は十分研究する必要がある。

○…繰込みのときに係員が緊急作業だからといつて工事を急がせる傾向がある。

○…同部内に主席係員と担当係員二人がいて、両者の意思がまちまちのまま作業予定が組まれたことがあり、作業面あるいは日曜工事などの問題にひびいてくる。

など沢山の意見や話がだされた。（電友より）

× × ×

すばらしいものは自分で自分の心に課した束縛である